

母の米寿の前祝い(石和温泉 1泊)

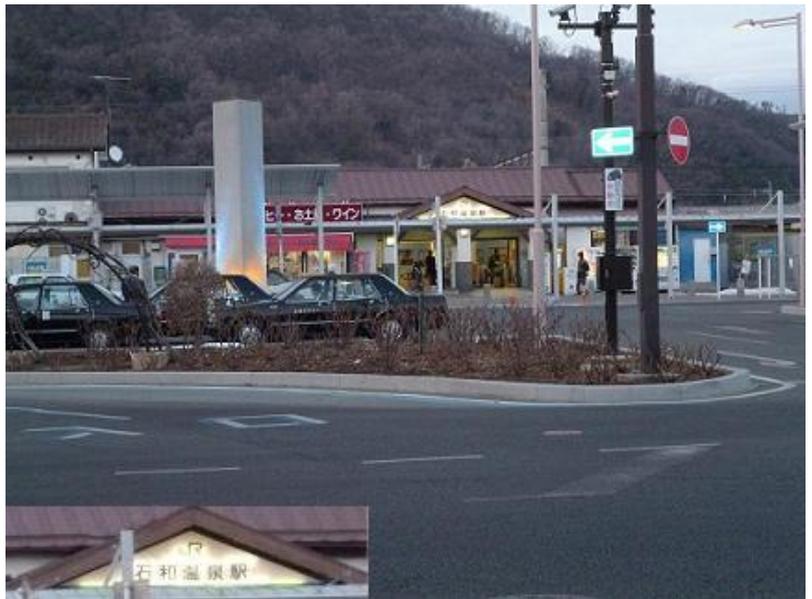
2013年1月24日

澤田 繁 著

大正14年生まれ之母は誕生日である2月14日で88歳の米寿を向かえるので、前祝いで1泊旅行に出かけました。

このところ、めっきり寒い清水高原に居て寒さのせいで、どこからか「温泉・温泉」とささやく声が聞こえて、2日前に適当な宿を中心に温泉を探し、その後母の都合を聞き決定したのが山梨県の「石和温泉」です。

清水高原からは長野道の塩尻北インター(約30分)から入り中央道を通り一宮御坂インターで出て約10分で目的地です。どこも寄らずに行くと約2時間で到着と言うことですが、当日は家を出たのが9時少し後、最初に主役の母を迎え(10時の約束)に松本市街まで、その後松本盆地の東側を通る山麓線を使い「塩尻インター」で高速にのりました。順調に中央道を走り、一宮御坂ICを通過「釈迦堂パーキングエリア」で休憩、下り線のPAの上に「釈迦堂遺跡博物館」を発見



<石和温泉駅>

「釈迦堂パーキングエリア」で休憩、下り線のPAの上に「釈迦堂遺跡博物館」を発見。今回の楽しみに、「勝沼IC」で降りたのが11時40分です。

温泉までは時間があるのでかねてから計画がある「秩父観光」の下見に行くことにしました。東京から春先の鉄道の景色がいいJR中央東線この一帯。笹子トンネルを抜け、春先は満開の桃畑の中を「塩山」に向かって緩いカーブを描きながら下っていく線路の道筋に合わせ、車を走らせる、途中から国道「140号線」を目指して山裾添いに移動しついに道の駅「花かげの郷まきおか」の前で目指す国道に出ました。ここで昼食休憩山梨定番の「かぼちゃほうとう」を母と女房の3人で迷わず注文し食べました。



13時ちょっと過ぎた頃出発、石和温泉には16時頃到着の予定で、秩父方面に行ける所まで行って引き返すつもりです。雁坂峠に向かい昇りがつづきます。「雁坂トンネル有料(¥710)道路」6625mは長く、途中で埼玉県に入り山梨県側より急な下り(曲りも)を走らせます。

ここまで来たので、友人から神社のお札をもらって家に祀ってある「三峯神社」まで足を延ばす事にしました。

予想を超える山道と山の上の神社に霊験新たな気持ちになり、帰路(石和温泉)につきました。かけながし温泉は大変気持ちが良く昨年痛めた腰・左ひざ・右ふくらはぎのケアを時間をかけて行いました。

